

経済建設常任委員会 視察研修報告

視察日

平成 28 年 1 月 28 日～29 日

視察先

- ・ 神奈川県平塚市
平塚市環境事業センター
- ・ 千葉県香取市
農事組合法人 和郷園

視察目的

平塚市環境事業センターは、ごみ処理施設の焼却炉建設と運営の調査、和郷園は、農業の 6 次産業化の参考とすることを目的とします。

視察内容

平塚市環境事業センターの焼却炉は、流動床式で一日 315 トンの処理能力を持っています。余熱を利用し、5,900 kW の発電を行い、場内で使用し、余剰分は電力会社で売電をしています。その他、一部の余熱は場内で利用する

とともに、周辺の温浴施設などにも供給しています。

環境面ではダイオキシン類の排出抑制と、二酸化炭素排出量の削減、焼却残渣はすべて溶融スラグへ資源リサイクルを行う等最終処分量の低減を図っています。



環境事業センターにて

翌日は、千葉県香取市の農事組合法人 和郷園において、農業の 6 次産業化について研修を行いました。6 次産業化というのは、農産物の生産は第 1 次、加工を行うのが第 2 次、流通販売は第 3 次となります。2 次 3 次事業者が得ていた付加価値を農業者自身が

得ることにより、農業を活性化させようとするもので、1 次 2 次 3 次を掛け算して 6 次産業と呼ばれています。

和郷園では、安心で安全な農産物の生産はもちろん、加工事業、販売事業、リサイクル事業、観光事業と多角的な事業展開をしています。

千葉県・茨城県の生産者 100 戸と契約栽培を行い、品質管理を徹底したもののづくりへのこだわりが基盤となっています。



和郷園にて

そして新鮮な農産物を鮮度抜群の状態でお客様に届けるための直接販売や、お客様のニーズに応えたカット野菜の提供、天ぷら材料、惣菜キットなど業務用にも対応するカットセンター、年間を通して安定供給する冷凍加工センター、乾燥させおいしく長持ちさせるドライ加工センター、野菜残渣の堆肥化等を行うリサイクルセンター、これらの堆肥を利用したおいしい安全な野菜の生産等、農業を軸にした多角的なアグリビジネスを展開しています。

貸し農園では年間約 20 種類の野菜を栽培し、バーベキュー広場、カフェ、温浴施設などを併設し、食と農を通じてライフスタイルを発信しています。

和郷園の研修は、美浦村地域交流館の農産物直売所における農産品の販売や、6 次化商品の開発に大変参考になりました。